

玉川上水・野の花だより No. 3 4

サルスベリ (百日紅)

中央大学研究開発機構・機構客員教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026 年 9 月 2 日

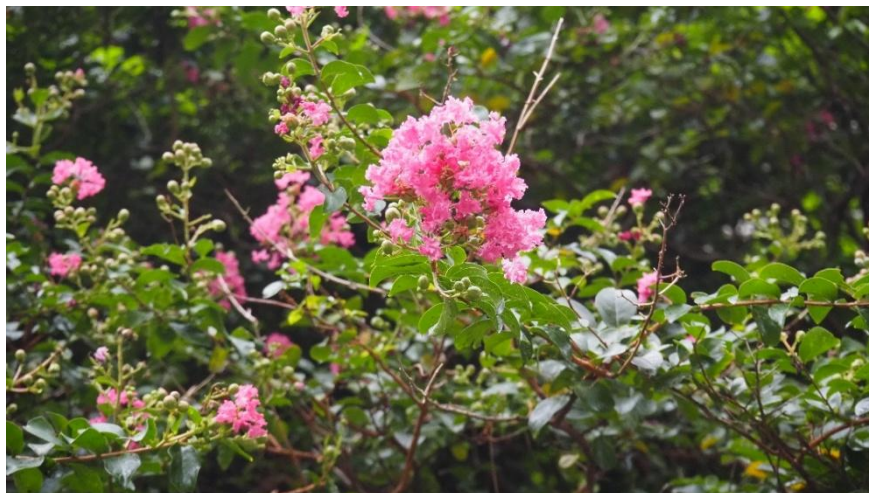
暑い夏を逞しく乗り切った花を、もう一つ御紹介いたします。野の花ではなく樹の花で、サルスベリ (*Lagerstroemia indica*) です。

笹塚緑道で、夏中、美しい桃色の花を、絶えることなく咲かせてくれました。秋になっても、まだまだ、咲き続けています。

このように花期が長いため、「百日の間。紅に咲き続ける」ということから、別名を「百日紅」(ヒャクジツコウ)と言います。

サルスベリという名前は、幹がツルツルとしていることから、木登りの上手な猿でさえも、滑ってしまうということから名づけられたとのこと。ほのぼのとしたユーモアが伝わってくる名前です。

笹塚緑道の下には、玉川上水が暗渠となって流れています。幸い、2本のサルスベリは、この暗渠から離れて植えられましたので、これからも何年も、盛夏から秋までを、彩ってくれるはずです。根元に豊かな土壌や、乾燥を防ぐ地被植物を配し、笹塚緑道の歴史を繋いでほしいと祈ります。



サルスベリ (百日紅) 笹塚緑道 2026 年 9 月 1 日